

近 畿 共 済 安 全 通 信

花粉症が運転に及ぼす影響とは・・・？

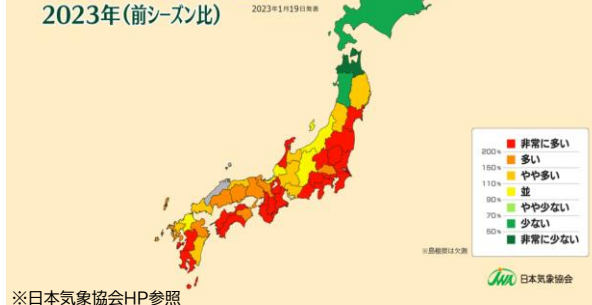


今年の花粉の動向について

日本気象協会によると、今年の花粉の飛散量は、九州から東北で前シーズンより多く、特に近畿地方は非常に多い予想となっています。今まで花粉症ではなかった人にも症状が現れる可能性**大**！

また、3月下旬以降は、ヒノキ花粉の飛散も始まる為、より一層の対策をする必要があります。

花粉の飛ぶ量は？ 2023年(前シーズン比)



※日本気象協会HP参照

花粉症の影響で運転中に起こりうる危険

1. 視野の低下

花粉症特有の症状の“目のかゆみ”は運転で1番大切な視界に大きな影響を与えます。

視界が十分に確保されず、注意力が散漫になることで、飛び出しや障害物を避ける際に判断が遅れる可能性が！

2. 突発的な交通事故

くしゃみ1回で**0.5秒、目をつぶると、時速60キロで走行中の場合、車は8メートル進みます。**

他にも、ハンドル操作を誤って、路外に逸脱したり、壁やガードレールに衝突してしまう危険性も・・・。

3. 集中力の低下

症状を緩和するために服用する薬の中には副作用として眠気をもよおすものや、集中力や判断力、認知力の低下を招く恐れがあるものも。

薬を服用する際は、医師に相談したり、説明書をよく読みましょう。

花粉症の症状がある場合は運行管理者に必ず報告・連絡・相談を！

死亡事故発生

3月1日午後3時ごろ、大阪市内で道路を逆走した車が病院に突っ込み、歩行者2名が巻き込まれ死亡する事故が発生。
容疑者は、「直前にくしゃみをして意識が遠のいた」と供述している。



事故防止セミナー開催

2月24日(金) 和歌山地域 ホテルグランヴィア和歌山
3月2日(木) 奈良地域 THE KASHIHARA

講師：(株)プロデキューブ 高柳勝二氏
演題：安全の会話で築く事故ゼロ
～「考え方・伝え方・やり方」～

ご出席いただいた皆さま、ありがとうございました(^^)／

和歌山

奈良

